

CTC 循環腫瘍細胞 ベーシックセミナー（午前）のご案内

治療を個別化するための検査結果への治療（午後）

CTC 循環腫瘍細胞 / CSC 循環腫瘍幹細胞検査、
抗がん剤・分子標的薬・天然成分の感受性試験や
SOT アンチセンス治療の紹介

主催：CTC 研究会

各位

来たる4月23日、昨年2度ご講演いただきました、福岡の喜多村クリニックの院長喜多村邦弘先生が、今回も循環腫瘍細胞（CTC）、循環腫瘍幹細胞検査（CSC）検査と治療の導入方法のベーシックセミナーを行います。さらに3月ドイツでがんを専門的に治療されるサノムクリニック院長のDr. シリングを訪問し、様々な臨床における知見をご教示いただき、それを本セミナーにてご紹介する予定です。

内容は下記の通りとなりますが、がんの個別化医療への第一歩としてぜひ、今日注目される CTC 循環腫瘍細胞ですので、セミナーにご参加の上ご検証いただければ幸いと存じます。

セミナーで紹介される内容：

- * がんへのテイラーメイド医療： 患者優先の個別化医療による大病院との差別化
- * 基礎医学レベルの CTC、CSC 検査がクリニックレベルで実践可能
- * 大病院ではなくても、クリニックレベルで外来と通院で実践出来る個別化先端がん治療
- * リアルタイムでがんの現状を遺伝子レベルから把握： 治療の時間的ロスの削減、治療の効果判定、フォローを可能とする
- * 最先端の SOT アンチセンス治療に関する情報提供： SOT アンチセンス治療の基本（SOT 製剤の構造、作用するしくみ等）
- * 抗がん剤が効きにくい CSC 循環腫瘍幹細胞に役立つ天然成分による対処の方法

ご多忙とは存じますが、よろしくお願いいたします。



主催： CTC 研究会
事務局： (株)デトックス
〒102-0085
東京都千代田区六番町 5-18 六番町ステートビル 1F
TEL: 03-5876-4511 FAX: 03-3222-5770
E-mail: info@detox.jp

記

日時：2017年4月23日(日) 10:00～16:30

* 開場は9時30分となります。

場所：ベルサール三田

〒108-6301

東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館1F

「三田駅」A1 出口徒歩6分(三田線・浅草線)

「泉岳寺駅」A3 出口徒歩6分(浅草線・京浜急行線)

「田町駅」三田口徒歩8分(JR線)

http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_mita/access.html

演題：(予定)

<午前の部> 10:00～12:30

演者： 喜多村 邦弘 先生 (福岡 喜多村クリニック 院長)

演題：

- (1) CTC 循環腫瘍細胞、CSC 循環腫瘍幹細胞検査による個別化医療への導き。
 - * がん治療の個別化により、転移と再発の原因となる CTC と CSC の検証方法と、CTC、CSC の遺伝子レベルからの確な対処を臨床に導く検査の内容と説明。
 - * 検査結果から読み取れる予後の予想と検討される治療。
 - * リアルタイムで状態が判明すると同時に、検査による治療の効果判定とさらなる対処。
 - * 幹細胞による転移、再発の危険度を鎮静化させる為の SOT アンチセンス治療を導入する背景 (マイクロアレイに発現している CTC、CSC 遺伝子の発現の抑制)。
 - * 臨床の報告。
- (2) CTC 検査の初回導入の方法、結果の読み方、がんの幹細胞に対し欧米で行われる天然成分を主体とした治療の導入方法。
 - * CTC、CSC を殺傷、アポトーシスへ導く欧米において導入される天然成分のプロトコールの建て方。
 - * 治療を3か月行ってから CTC、CSC のカウント検査による治療の効果判定。
(この SOT アンチセンス治療はがんの浸潤能、不死化、増殖、血管新生などに照準をあてますので、日本で活発に行われる樹状細胞治療の補完にもなり得ます。検査と同時に RGCC ラボはアンチセンス治療用製剤も受託しています。)

途中休憩が入ります。

<昼食> 12:30～13:30

ご昼食の用意があります。ランチョンの予定あり。(※)

<午後の部 - 1> 13:30～14:45

演者： 喜多村 邦弘 先生 (福岡 喜多村クリニック 院長)

演題：

ドイツ サノムクリニック院長 Dr. シリングの CTC 検査、SOT、GcMAF を含む天然成分による対処等出張で得た情報の紹介。

Q&A

<午後の部 - 2> 15:00 ~ 16:30

演者： 喜多村 邦弘 先生（福岡 喜多村クリニック 院長）

演題：

- (1) 米国コロンビア大学カッツ医師、カンザス大学のジーン・ドリスコ先生／チー・チェン先生方が行った治験。前立腺がん、膵臓がんへの、フランス パストゥール研究所ミルコ・ベルジャンスキー先生開発の天然成分適用効果のレポート及び製品の紹介（RGCCの天然成分検査で効果が非常にある）。
- (2) その他

Q&A

※ 演題の詳細につきましては、決まり次第都度ご案内致します。

参加費：

- 午前・午後 一名様 25,000 円（同伴の医療従事者一名様 5,000 円）
- 午後のみ 一名様 15,000 円（同伴の医療従事者一名様 5,000 円）
- すでに RGCC 社検査を導入されている、もしくは昨年弊社主催「CTC 循環腫瘍細胞・CSC 循環腫瘍幹細胞検査 ベーシックセミナー」（2016 年 8 月 21 日または 10 月 29 日）にご参加いただいた方は 一名様 15,000 円とさせていただきます。

※ 参加をキャンセルなさる場合は必ず事前にご連絡下さい。

お支払： 事前に下記口座までお振込をお願い致します。

お手数ですが、振込人様名はクリニックの名称にてお願いいたします。医療法人の名称ですと、確認にお時間がかかる場合がございます。

みずほ銀行 沼袋支店 普通 2031695 カ) デトックス

※ 振込手数料はご負担願います。

申込み： (株) デトックスまで、クリニック名、参加者名、参加費領収書のあて名をご連絡下さい。

E-mail: info@detox.jp

Fax: 03-3222-5770

Tel: 03-5876-4511

【参考情報】

2013 年 9 月 19 日（木）放送 **NHK クローズアップ現代**（短編版）

がん“根治”の時代は来るか～“がん幹細胞”研究最前線～

※内容はがんの幹細胞に関連します。CTC と幹細胞に関する番組が生まれ、放送されたものでございます。

※下記リンクよりダウンロードの上ご覧下さいませ。

<https://www.hightail.com/download/cUJWtXRSZEs5RIIVV01UQw>

【CTC、CSC に関する補足情報】

悪性腫瘍が直径 1-2 mm位の大きさになると、血流中に様々な細胞を放出する。これを、循環腫瘍細胞（CTC：Circulating Tumor Cell）という。CTCには、腫瘍の転移と再発に主に関与する腫瘍幹細胞（CSC：Circulating Stem Cell）が含まれている。

何故 CSC 検査が必要なのか？

- 従来の抗がん剤効果判定は、画像に移った腫瘍の縮小・消滅を有効と判定していたが、腫瘍細胞を叩いても、CSCが転移と再発に関与しているので、これを叩かない限り転移と再発のリスクは減らない。In vitroでも従来の医学では腫瘍細胞に対する検査であり、腫瘍幹細胞に対する有効性は検査されていない。
- 脳血液関門（BBB）内にある脳・脊髄腫瘍以外の腫瘍は、検体の採取が採血 20mlのみ（リキッド・バイオブシー）なので、通常の腫瘍生検よりも侵襲が少ない。脳・脊髄腫瘍は BBBの内側にある限り、血液中に CSCを発見することが難しいため、腫瘍幹細胞採取・培養には、採取直後の組織生検標本を要する。

欧州 RGCC ラボの検査結果に示される内容

① オンコノミクス検査（がんの診断確定後に導入）

- 培養 CSC に対する代表的な抗がん剤、分子標的薬、天然物の有効性判定（培養 CSC に対する生死判定試験と分子生物学的分析）
- 培養 CSC に対する放射線療法・温熱療法の有効性判定
- 腫瘍の特性に関係する遺伝子（増殖因子関係、自己修復と抵抗性、血管新生、細胞周期の調節、薬剤耐性等）の発現状況（これにより、下記 SOT アポトシス・アンチセンス治療が可能）

② オンコトレース検査（がんの治療のフォロー）

- 血流中の CSC の濃度（個数） これは腫瘍細胞ではなく、腫瘍幹細胞を培養する培養系である。
- 検出された CTC のマーカーの陰性陽性区分
 1. 腫瘍幹細胞性示すマーカー（CD44、CD133、Sox-2、OKT-4、Nanog など）
 2. 臓器特異性を示すマーカー（CD45、VHL mut、PSMA、MUC-1CD63 など）
 3. その他のマーカー（c-MET、panCK など）

この結果より、培養された CTC がどこ由来の CSC であるかある程度わかる。

（*）本来この検査は早期発見のための適用はないが、米国では医師と受検側の了解の元で使用されている。早期発見の精度としては独立した第三者機関の調査ではないが、検査元 RGCC 社の独自検査では、CSC 発見の感度と特異度は 85% 程度あり、画像検査よりも早い時期に腫瘍を検出できる可能性がある。

検査後の治療方針

- オンコノミクス検査による培養 CSC の各種薬剤・天然成分への感受性に基いて、抗がん剤及び天然成分を選定し、場合によっては放射性療法・温熱療法を行う。
- オプションとして、培養 CSC の発現遺伝子に対して、RNA サイレンシング（静止化）を行う SOT（Supportive Oligonucleotide Technique）と呼ばれる治療法（アポトシス・アンチセンス治療）を選択することが可能である。

検査キットの入手法

（株）デトックス tel 03-5876-4511 までご連絡ください。

検体の採取方法

針刺入部の組織片などの混入を避けるため、最初の血液 5 ml は破棄し、次の 20 ml の血液を採血し、専用容器に入れる。専用容器に油性の筆記具で必要事項を英語で記入、ただちに冷蔵庫に保存する。禁凍結。

検体の発送方法

必要書類を英語で記入し、検体と同梱の上、東京都内(株)デトックスまでクール便（冷蔵）で発送してください。週内にヨーロッパへ向けて発送するには、平日金曜日午前中に届いている必要があります。平日月曜日～金曜日午前中に届くように、お送りください。
〒102-0085 東京都千代田区六番町5-18六番町ステートビル1F
(株)デトックス TEL03-5876-4511

結果が出るまでの期間

検体発送後、オンコトレース検査の結果が出るまで約2週間、その後、約1週間でオンコノミクス検査の結果が英語版で出ます。7-10日後、日本語版が送付されます。いずれもメール添付ファイルとして送付されます。

オンコノミクス検査の無料追加項目の依頼

なお、オンコノミクス検査をお申し込み時点で、調べてみたい天然成分、健康食品、漢方薬など2品目まで、RGCC社へ添付して培養CSCに対する抑制率を無料で検査することができます。既定の量を(株)デトックスへお送りください。

1品目あたり、カプセル・錠剤は2粒、液体20ml、草など天然物の現物は10gなどの目安が出されていますが、漢方薬エキス剤などは2回分で大丈夫です。

お支払い方法

オンコトレース検査とオンコノミクス検査は、結果到着後、当月末にお振込みいただきます。

SOT製剤発注も同様とします。